津山中央病院　卒前卒後 臨床研修センター（卒臨研）

研修医の情熱 × 指導医の情熱

2021年度津山中央病院 初期臨床研修医募集案内

津山中央病院　卒前卒後 臨床研修センター（卒臨研）

研修医の情熱 × 指導医の情熱

病院長　　林　同輔

「鉄は熱いうちに打て」これは、ご存知のように「人間も純粋な心を失わず、若く柔軟性のあるうちに心身を鍛えることが大事である」という諺です。
研修初期の柔軟な時期に、しっかりとした基本を身につけ鍛えていくことが、その後の医師としての人生を充実させるために不可欠なものと考えます。
我々は熱い情熱を持って皆さんの研修をサポートしていきますので、決して後悔させません。
是非一緒に勉強していきましょう。

日本外科学会専門医
日本消化器外科学会認定医
日本乳癌学会認定医
岡山大学臨床教授

副院長/研修管理委員長　岡　岳文

本年度はCOVID-19の影響により、病院説明会を開催することが難しい状況です。少しでも当院の魅力を知ってもらうために冊子を皆さんにお届けします。特に将来どの科に進んでも必要な感染症と救急が当院の強みです。2年間の研修を通して、腕が良くて頭が良くて、そして何よりも心の良い、バランスのとれた医師になれるよう共に頑張りましょう。一緒に仕事ができるのを楽しみにしています。

日本内科学会総合内科専門医、指導医
日本循環器学会専門医
日本プライマリ・ケア連合学会指導医
プログラム責任者
岡山大学医学部臨床教授

TOPICS①

2020年度　初期研修医　研修開始

2020年度の初期研修医8名が研修を始めました。コロナの影響で歓迎会開催が自粛されましたが4月より各科に配属され、最前線で働いています。

TOPICS②

新オペ室完成　N病棟は2018年4月より運用。

TOPICS③

研修医の勉強会が一新されます。
救急外来のよくある症状の鑑別、その対応・治療を症例ベースで議論します。座学だけではなく心肺蘇生、外傷初期診療、ギブスの当て方、超音波の当て方、気管挿管のノウハウなど実技にも焦点をあてています。勉強会にも情熱を注ぎます！

TOPICS④

当院研修医OBが第一線で働いています。
藤田先生（亀田総合病院感染症内科）が感染症内科特任部長として就任、ドクターヘリで有名な公立豊岡病院で救急の中心メンバーの前山先生が救命救急センター長を就任し、ともに卒臨研の主要メンバーとして研修医の先生の教育に情熱を注いでいます！

TOPICS⑤

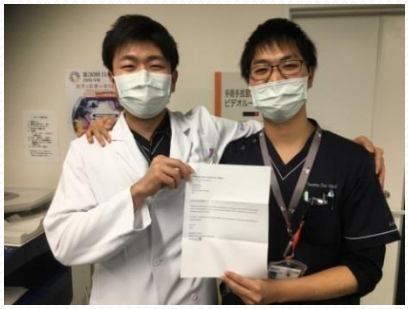
毎年岡山大学で行われているOSCE CUP（県内外の研修病院から30名近い研修医1年目が参加）において5年連続、約半数の評価科目で津山中央病院研修医がMVPを獲得しています。毎年このような評価を受ける事ができるのは指導医と研修医の教育に対する情熱があるからこそです！

TOPICS⑥ *2019年1月ハワイアン航空より感謝状*

飛行機内での救急患者に初期対応を行いました。

“新幹線や飛行機の中で『お医者さんはいませんか』と言われた時に、迷わず手を上げる医者になる”という当院の一貫した指導目標を実際に行ってくれました。

手を上げた勇気に敬意。

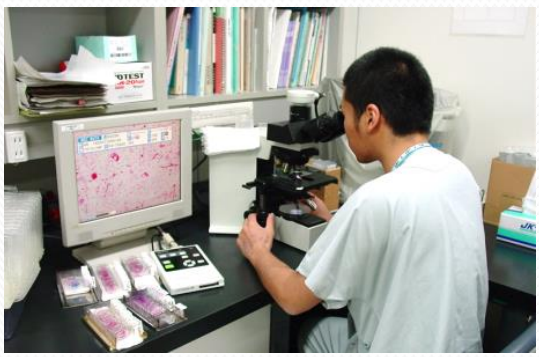


津山中央病院で研修のここがスゴイ！！

①年間5,000台の救急車、救命救急センター受診25,000人
１次、２次、３次の豊富な症例を経験できる。特に３次救急とICU管理は救命救急の専門医から正式な手技を習得できる。

②心肺蘇生BLS,ICLS,ACLS,PALS,JATECの資格を獲得できる。病院からの金銭支援あり。 心肺蘇生例が多く（年間約160例）、実践に活かすことができます。

③グラム染色は研修医必須項目。
抗生剤の使い方を含め感染全般について研修します。



津山中央病院で研修のここがスゴイ！！

研修医は研究会、学会発表をどんどんしてもらいます。

第115回内科学会中国
地方会研修医5人発表

津山中央病院で研修のここがスゴイ！！

手術件数が県内有数。（手術室件数**年間4,000件**）
がん拠点病院として**県内5番目の症例数**です。

地域研修では家庭医療、プライマリ・ケアで有名な
奈義ファミリークリニックの**松下明先生**の指導を受けられます。

感染症内科・総合内科の藤田先生はヒューマンエラーに注目した **しくじり診断学** で全国で講演しています。

卒臨研は多くの活動を行っています。

卒臨研コアメンバーの他に
各科指導医、メンターが
います。

兄貴、姉貴分のメンターとの結団式と
卒団式、研修医修了式も企画します。

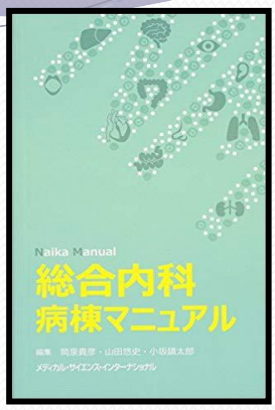
メンターとの結団式

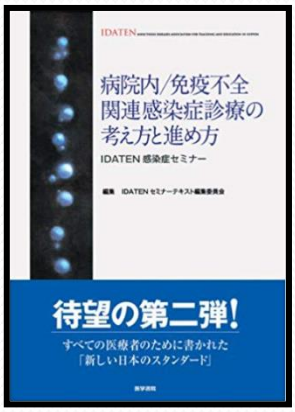
土曜（月2回）各科の先生のセミナー
があります。実技（心肺蘇生、気管挿管
エコー、中心静脈など）も行っています

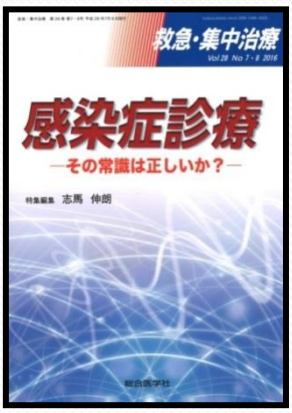
半日かけて行う心電図集中セミナー
を計画しています。

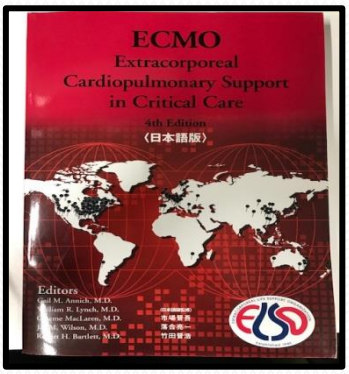
基本的臨床能力評価試験を行いました。
全国５３９施設（岡山３施設）研修医や
指導医にフィードバックします。
2019年度は救急部門の項目で
日本一の点数でした！

当院スタッフが担当した研修医向け著書
（分担執筆を含む）









津山中央病院初期研修Q&A

Q、救急が多く忙しいという話を聞きます？

A、間違いなく他の病院より忙しいです。しかし勉強する時間、休日に遊びに出る時間、勤務終わりにご飯に行く時間などはしっかり確保されます。働く時にはしっかり働き、オフはしっかり休む！が当院の研修の特徴です。忙しい分より多くの症例を経験できますので、医師として成長できるチャンスが多いと考えます。

Q、救急研修について特徴はありますか？

A、当院は岡山県北で唯一の救命救急センターを有する基幹病院です。**救急外来で１次、２次、３次全ての症例、また集中治療を2年間通して学ぶ事ができます。このため2年間の研修が終了する頃には自信を持って急変対応する事ができるようになります。**

Q、2年間で初期研修に必要な手技は身に付きますか？

A、必ず身につきます！例えば1年間で気管挿管100例、心肺停止50例、動脈ライン確保60例など他病院では考えられない程の手技を経験できます。もちろん指導医の情熱のある指導付きです。

Q、給与や待遇で特徴はありますか？

A、**当直手当などの諸手当に加え、年２回の賞与、住宅補助、学会参加やBLS研修、基本的臨床能力評価試験、医師賠償保険の支援**などを行っています。給与の詳細はホームページをご覧下さい

Q、初期研修終了後の進路は？

A、入局、非入局を含め進路は自由選択ですが**初期研修医の51.3%が当院の後期研修を続けています。**（平成23～30年　38/74人）地理的に決して恵まれているとは言えない当院の数字は**研修の満足度の高さと病院への愛着の深さ**を示しているものと思っています。新専門医制度についても心配ありません。

総合内科・感染症内科　藤田先生からのメッセージ

総合内科・感染症内科の藤田浩二です。初期研修医時代を津山中央病院で過ごし、以後しばらく亀田総合病院の総合内科と感染症科で過ごしていましたが、2017年4月より古巣である津山中央病院に戻り、総合内科・感染症内科をスタートさせました。

当院は県北唯一の三次救急病院であり県北医療の砦としての機能を持ちます。また、私達のエリアには松下明先生率いる岡山家庭医療センターもあり実力ある家庭医が活躍する医療圏です。したがって、急性期病院の医療から家庭医療・地域医療まで、幅広い視点での学びが可能です。

私が担当する主な業務は、感染症科としてICTラウンドを通じての感染管理や抗菌薬適正使用の促進、血液培養陽性者の全例併診、その他感染症診療全般の相談などがあります。総合内科としては、内科全般の業務を通じて診断のつかない疾患や各種不定愁訴に正面から取り組みます。また、卒前卒後臨床研修センターのスタッフの一人として、学生・研修医・院内外からこられる研修希望者の皆さんのよりよい学習のお手伝いもさせて頂きます。

質の高い医療を目指すと同時にそれらを通じて皆さんに質の高い教育の場を提供していきます。院内、院外で今後も多くの勉強会、ワークショップも企画していきますので、ぜひ一緒に津山の土地で共に働き、共に学び、共に最高・最善の医療を作っていきましょう。

救命救急センター長　前山先生からのメッセージ

　私は初期研修、後期研修を津山中央病院で研修し、その後兵庫県豊岡病院但馬救命救急センターで約８年、ドクターヘリやドクターカー、救急外来、集中治療、外傷診療の研鑽を積みました。この度県北地域の救急医療をより発展させるために帰って参りました。

津山中央病院救命救急センターは県北唯一の救命救急センターです。東京都より広い面積をカバーをしており脳卒中、急性冠症候群、外傷、心肺停止などの重傷な疾患から風邪や創傷など軽症な疾患まで幅広く対応しています。

　初期研修の間は様々な科を周り、当直は救急外来を担当する事になります。前述のように様々な疾患が来る事や指導医の先生も熱心な方が多く手技もしっかりさせるため初期研修２年間が終わる頃にはかなりの力をつける事が出来ると思います。
初期研修、後期研修は一人前の医師になる過程で非常に大切な時期だと考えています。私自身も今振り返ると津山中央病院で研修できた事が現在の医師像に大いに影響しており一生の財産になったと感じています。
興味が少しでもあれば当院へ是非見学に来て下さい。県北地域医療を盛り上げてくれる方を待っています。
是非一緒に働きましょう！

先輩からのメッセージ

麻酔科　越智聡子　先生　平成31年３月研修修了

Q1 津山中央病院で初期研修を選択した理由

初期研修の2年間で、緊急時に咄嗟に判断し対応出来るようになること、自分の(医学的、倫理的含め総合的な)診療スタイルの基盤を築くことを目標に頑張りたいと考えていました。
津山中央病院の救急診療では初期研修医の先生方が率先して対応している姿を見て、ここで研修をすれば自分の目標を達成することが出来ると感じました。
最終的には、実際に見学に来て直感的に一番しっくりきたので決めました。

Q2 初期研修の特徴や利点欠点

世間的に野戦病院と言われている通り、common desease から重症疾患まで多くの症例を経験することが出来ます。初期研修から救急診療の機会を与えられるので、学ぼうとする姿勢があればそれだけ多くの症例を学べます。特に自分から積極的に学ぶことが好きな人、得意な人には、充実した初期研修になること間違いなしだと思います。BLS、ACLS、JATECなどの資格取得においても金銭的なサポートが受けられるのも良いところです。
欠点としては、日々の診療が忙しいが故に、学術的な教育を受けられる機会が少ないのではないかと感じます。

Q3 自分が成長したと感じるとき

JATECやFCCSなどの資格が得られたときは、目に見えるかたちで自分の知識面での成長が感じられ、励みにつながります。
実臨床では成長を感じることは実際のところ少ないですが、日々の診療のなかで以前より頼まれたり相談いただいたりする機会が増え、他科の先生方やコメディカルの方々とのコミュニケーションをとることも増えたと感じます。
そういう場面が増えることで責任を負う大変さもありますが、やりがいを感じることが出来ますしやる気が漲ります。そういった意味では、日々の診療においても成長しているのではないかと思います。

Q4 これから初期研修を始める医学生にメッセージ

どの病院を選んでも、それぞれの良さがあり、そこでしか学べないことがあると思います。私は津山中央病院での初期研修を選んで心から良かったと思っています。
医療のスキルはもちろん、2年間苦楽をともにした仲間が得られた事は一番の財産だったと思います。
切磋琢磨し、楽しみを共有できる仲間を見つけて、2年間楽しんでください！

先輩からのメッセージ

循環器内科　宮原克徳　先生　令和2年3月研修修了

津山中央病院での研修は、①症例が豊富である点②教育熱心な指導医が多い点が他の研修病院との大きな違いだと思います。
当院は県北医療の最後の砦として１次救急から３次救急まで、つまり風邪や胃腸炎、単純な骨折から脳卒中や心筋梗塞、交通外傷まで幅広く対応しています。

救急対応は研修医の主な業務の１つになるので、救急外来での患者さんの初期評価や呼吸・循環管理、抗製剤の選択、治療方針など多くのことができるようになるよう求められます。

初めは出来ない事だらけで何度も悔しい思いをしました。学生の頃と違って、患者さんごとの薬の使い分けや投与量の調整等、考えるべきこと・知っておくべきことは多いです。そういった分からない事や疑問にぶつかった際に上級医に相談したり、up to dateで検索したりして知識を増やしていき、自信をもってできる事がどんどん増えてきているのを実感しています。

また、亀田総合病院の総合内科・感染症内科で働いておられた藤田先生や、豊岡病院の救命救急センターでフライトドクターとして働いておられた前山先生をはじめ、多くの教育熱心な先生方が指導してくださいます。
抗生剤の使い方を体系的かつ論理的に習う機会は滅多にないですし、救急外来やＩＣＵでの呼吸・循環管理や評価、鎮痛・鎮静剤の使い方とその注意点など様々なことを高いレベルで教育して頂く機会は、とても貴重です。
当院での研修は今後、医者として働く上での基礎を築くにはもってこいだと思っています。

津山中央病院での研修に興味のある方は一度見学に来てみて下さい。
お待ちしております。

当院の熱意ある指導医！！

ベスト指導医賞受賞！！

２０１９年度研修医
（17期生）

２０２０年度研修医
（１８期生）

よく学びよく遊ぶ

医局歓迎会

医局旅行
ラグビーワールドカップ　観戦
日本対サモア　トヨタスタジアム

慈風会大忘年会

病院名	**一般財団法人　津山慈風会　津山中央病院**
理事長 病院長	藤木　茂篤　（津山中央病院グループ） 林　　同輔
住所	〒708－0841 岡山県津山市川崎1756
TEL	0868－21－8111
FAX	0868－21－8200
病院ホームページ	http://www.tch.or.jp/
研修管理委員長	岡　岳文（プログラム責任者）
卒前卒後臨床研修センター （卒臨研）	センター長　　藤田　浩二 副センター長　前山　博輝
交通手段	車、バス、JR（津山駅まで）
病床数	515床（救命救急センター26床　結核10　感染症8）
常勤医師数	116名（初期研修医18名含む）
診療科目（標榜科）	内科、感染症内科、消化器内科、神経内科、糖尿病内科 呼吸器内科、循環器内科、小児科、外科、消化器外科 乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、呼吸器外科 脳神経外科、整形外科、産婦人科、皮膚科、形成外科 泌尿器科、耳鼻咽喉科、救急科、眼科、歯科、 歯科口腔外科、放射線科、病理診断科、 麻酔科、リハビリテーション科、 ペインクリニック内科、ペインクリニック外科
1期生～18期生の出身大学 （五十音順）	岩手医科大学（1）　愛媛大学（3）　大分医科大学（1） 大阪医科大学（3）　岡山大学（93）　香川大学（4） 金沢大学（1）　川崎医科大学（2）　京都大学（1） 杏林大学（1）　熊本大学（1）　久留米大学（1） 群馬大学（1）　高知大学（4）　産業医科大学（1） 自治医科大学（7）　島根大学（3）　鳥取大学（17） 兵庫医科大学（2）　福井大学（1）　山口大学（2） 信州大学（1）　横浜市立大学（1）　琉球大学（2）
給与	1年目　月額45万円程度 2年目　月額55万円程度 （当直、諸手当含む） 年2回の賞与 補助：住宅、学会や研修参加費、医師賠償保険

まずは病院を見学してみよう！

車でお越しの方
・JR津山駅から車で１５分、JR岡山駅から車で１時間３０分
　敷地内に無料駐車場があります

JRでお越しの方
・津山駅で下車し、ごんごバス
　もしくはタクシー（約15分）を
　ご利用ください

バスでお越しの方
・津山市内循環ーごんごバス　をご利用下さい
　（津山中央病院へは病院正面玄関前で停車します）

＊津山駅からタクシー、ごんごバスをご利用の方は、補助をしますので必ず領収書をもらうようお願いします。
・津山タクシー　0868-22-4188　　・大崎交通　0868-26-1220　など

2020/4/28現在　COVID-19の影響で見学も難しい状況ですが
興味があればとにかくご連絡ください。できる限りの対応をします。

連絡先：総務人事グループ　椋代（ﾑｸﾀﾞｲ）

①見学希望日②見学希望科③夜間救命救急見学希望の有無④宿泊の有無
⑤その他質問事項　　①～⑤を記入のうえ、下記までご連絡ください。

Email　jmuku@tch.or.jp
TEL　0868-21-8111(代)　　FAX　0868-21-8200

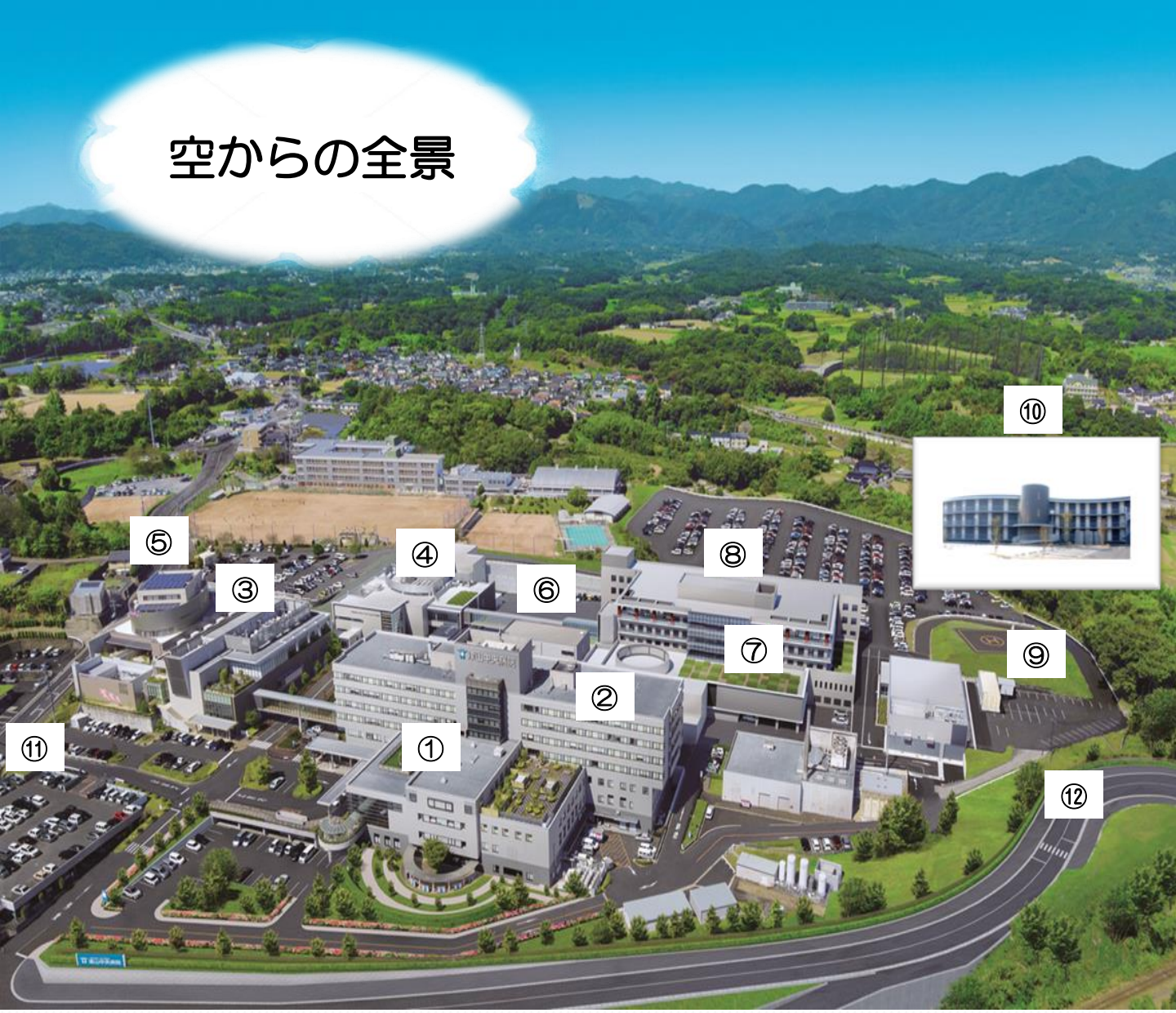
病院見学は随時受付しています。
救命救急センターの見学は土も可能です。(日曜日は要相談)
詳細はHPをチェックしてください。　http://www.tch.or.jp/

病院見学の申し込み待ってます！！

津山中央病院　検索

facebook　卒臨研のFBも注目

空からの全景



①外来＋法人本部
②病棟＋救命救急センター
③健康管理センター＋PET
④陽子線治療センター
⑤健康増進センター（フェットネス＆スパ）
⑥医療研修センター
⑦新オペ室（2019年秋オープン）
⑧新病棟+Super ICU（2018年4月オープン）
⑨ヘリポート
⑩研修医宿舎（テニスコート、フットサルコート）
⑪看護学校
⑫県道河辺高野山西線（2019年３月開通）

*南から病院を見下ろした図、新病棟、新オペ室増改築完成後の様子です。

津山に詳しくなる豆知識

旧津山扇型機関車庫は
「津山まなびの鉄道館」
として、全国から鉄道
ファンが集います。

津山といえば・・・・
●ホルモンうどん
●そずり鍋
安くておいしい
焼肉屋が多い

津山市出身 B'z 稲葉さんの
２回目の地元凱旋ライブ
街をあげての大歓迎
新聞やテレビで報道

津山市を中心とする美作地方は江戸
後期から明治にかけて優れた洋学者
を輩出しており。洋学資料館は必見。
宇田川玄随は日本で最初の内科学書
を翻訳。玄真は緒方洪庵を育成、

榕菴は植物学、科学、音楽と幅広く紹介しました。
玄真は「膵」「腺」等の　字を、榕菴は「細胞」「酸素」「温度」「圧力」「珈琲」等作成しています。箕作阮甫はペリーが持参したアメリカ大統領親書を翻訳し交渉に参加しています。津山には学ぶ気風が脈々と受け継がれています。
研修医として一緒に頑張りましょう！

試験情報はホームページを参照ください。
COVID-19の影響により試験日程、方法などが変更になることもあります。
（2020/4/28現在）

一般財団法人 津山慈風会
津山中央病院

作成　津山中央病院　卒後臨床研修センター（卒臨研）